

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

2018 AUTOBACS SUPER GT Report AUTOPOLIS GT 300km RACE

第7戦 オートポリス

ZENT CERUMO LC500

#38 立川祐路／石浦宏明

◆10月20日（土） QUALIFY

公式予選総合結果 8位

2018年のSUPER GTも残すところ2戦。舞台は大分県日田市にあるオートポリスでの第7戦を迎えた。LEXUS TEAM ZENT CERUMOにとっては、今シーズンのチャンピオン争いに踏みとどまるためにも好結果が欲しいラウンドだ。このレースに向けてLEXUS TEAM ZENT CERUMOは、8月に行われたタイヤメーカーテストに参加。走行初日にはトップタイムをマークするなど、準備を万端に整え好感触を得てオートポリスの地に向かった。



しかしチームスタッフたちは走行開始前日、オートポリスに到着するとそのあまりの寒さに驚いた。チームがある御殿場も冷え込んで来たが、阿蘇山にあるオートポリスの寒さは予想以上。ダウンジャケットを着込み準備を整え、10月20日（土）の予選日を迎えることになった。



午前9時からの専有走行に向け、ZENT CERUMO LC500のステアリングを握ったのは立川祐路。しかしこの日の午前もオートポリスは曇天で、路面温度はまったく上がっていかない。8月のテストで好感触を得たセットアップでは、あまりに気温・路面温度ともに異なって

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

EXEDY

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

BBS

AST Inc.
Advanced Thermal Management Corporation

PREMIUM WATER
Bottling Water Delivery Service

TAMACHI

GIRO

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

いたこともあり、フィーリングが良くない。立川は専有走行の時間をうまく使いながらセットの変更を進めていき、石浦宏明に交代。石浦は進めてきたセットアップの方向性が間違っていないことを確認しつつ、周回を重ねていった。

セッション終盤こそやや天候が好転したことや、セットアップが進んだこともあって、石浦が GT500 クラスの専有走行の時間帯に 1 分 33 秒 388 というベストタイムをマークし、この専有走行での 3 番手につけたものの、ライバル勢が速く課題はまだ多そうだった。LEXUS TEAM ZENT CERUMO は午後 2 時 30 分からスタートする公式予選に向けて、さらなるセットアップの煮詰めを行っていった。

チームは予選までの間にピットウォーク等のイベントをこなしていったが、その間にオートポリスの上空には青空が広がり、気温も上がっていった。こうして迎えた午後 3 時 09 分からの公式予選 Q1 では、LEXUS TEAM ZENT CERUMO は石浦に Q1 のアタッカーを委ねた。



石浦は Q1 残り時間 7 分 30 秒というタイミングでコースインすると、しっかりとタイヤを温めアタックに入っていく。気温が上がっており、ややテストのときの状態に近づいていたが、石浦はその段階で 3 番手となる 1 分 33 秒 304 をマークするが、その後アタックを終えたライバルたちが続々と好タイムをマークしてくる。ただ石浦のタイムは、Q1 突破には十分。7 番手につけ Q2 の立川に繋ぐことに成功した。



GT300 クラスの予選 Q2 を挟み、午後 3 時 37 分にスタートした GT500 クラスの Q2。予選ではすっかり気温も上がっていたこともあり、セットアップを気温が高い状態に近づけた ZENT CERUMO LC500 は、ライバルたちとともにコースに入っていく、タイヤのウォームアップを行っていく。

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

EXEDY

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

BBS

AST Inc.
Advanced Thermal Management Corporation

PREMIUM WATER
Bottling Water Delivery Service

TAMACHI

GIRO

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

しかし立川がいざアタックラップに入ろうとしたとき、眼前でアタックを展開していた#100 NSX-GT がわずかにコースをはみ出し、砂埃を巻き上げた。危険を察知した立川はわずかにアクセルを緩めてしまう。これはもう一度アタックラップをやり直すべきか……!? チームと立川は一瞬迷ったが、もう予選 Q2 の残り時間は少ない。このラップで決めるしかない。



立川はなんとか 1 分 33 秒 323 というタイムをマークしアタックを終えることになるが、ライバルが大幅にタイムを上げていたこと、そして一瞬の減速が響いてしまい、ZENT CERUMO LC500 の Q2 順位は 8 番手という結果に終わってしまった。立川のタイムはセクター 3 はレクサス勢の中でも最も速く、わずかな減速さえなければグリッドは 1 ～ 2 列は前にいけただけに、立川は予選後、少し悔しい表情をみせた。

とはいえ、ZENT CERUMO LC500 が上位を争えるスピードをもっていることは、この予選で証明されたと言える。このオートポリスでのレースは荒れる展開も多く、何が起きるかは分からない。ZENT CERUMO LC500 は 10 月 21 日（日）の決勝で巻き返すべく、チーム一丸となって挑んでいく。

ドライバー／立川祐路

「午前の専有走行からアンダーステアに苦しんでいましたが、公式予選までにクルマをかなり変えて、大きくバランスを改善することができたと思っています。僕の Q2 のアタックのときには、前で 100 号車がコースアウトしてしまい減速してしまったため、アタックを続けるか迷いましたが、残り時間もなかったのでそのまま続けました。そこでタイムを失った部分もあるので、ちょっとスッキリしないですね。ただ後半セクションでのフィーリングは良くなっていたので、明日巻き返したいと思っています。オートポリスはタイヤに厳しいコースなので、うまく使った者が勝利に近づけると思います。今日はフラストレーションをためた分、明日頑張りたいですね」



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

EXEDY

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

BBS

AST Inc.
Advanced Thermal Management Corporation

PREMIUM WATER
Bottling Water Delivery Service

TAMACHI

GIRO

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

ドライバー／石浦宏明

「僕たちは事前にメーカーテストに来ていたので、そのセットアップで専有走行に臨みました。ただ気温が低くバランスもかなり違って、ずっと立川選手にセットアップをしてもらっていました。専有走行で僕が乗った段階でもいくつか変更してもらいましたが、かなり良好な状態になっているのは分かりましたね。ただ、予選 Q1 に向けてさらに変更を施しましたが、今度は急に路面温度が上がり、セットアップの変更をやり過ぎたところを感じたので、Q2 に向けてさらにアジャストしてもらいました。事前の予想とはクルマの状態が違ったので、ドタバタするところはありませんでしたが、最低限合わせることはできたと思っています。このコースはタイヤに厳しいコースで、少しでもバランスを間違えるとレースにならなくなってしまいます。大事なのは決勝でいかにキレイにタイヤを使うかだと思っているので、予選を参考にしながら、しっかりレースを速く走れるクルマを仕上げたいです」



浜島裕英監督

「専有走行は気温等の条件があってアンダーステアが非常に厳しかったですね。フロントタイヤが心配されましたが、午後は太陽も出て路面温度も上がり、いいバランスになったと思っています。ドライバーがいいアタックをしてくれて Q1 を突破し、Q2 に進出しましたが、立川選手のアタック中に前方で危険があり、しっかりと減速した分遅れてしまいました。ライバルが速いですが、レースは粘り強く戦って、できる限り上位でフィニッシュできるよう、チームみんなで頑張りたいと思っています」



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

EXEDY

PMU
RACING PADS

WAKOS

asics

BBS

AST Inc.
Advanced Thermal Management Corporation

PREMIUM WATER
High-Purity Water Delivery Service

TAMACHI

GIRO

LEXUS TEAM ZENT CERUMO



ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

EXEDY

PMU
RACING PADS

WAKO'S

asics

BBS

AST Inc.
Advanced Thermal Management

PREMIUM WATER
WaterPurifying Water Delivery Service

TAMACHI

GIRO

LEXUS TEAM ZENT CERUMO

予選結果表

Rank	Car No.	CarName	Q1 Time	Q2 Time
1	8	ARTA NSX-GT	1'32.706R	1'31.441R
2	17	KEIHIN NSX-GT	1'32.706R	1'31.989R
3	100	RAYBRIG NSX-GT	1'32.854	1'32.151R
4	36	au TOM'S LC500	1'33.082	1'32.563R
5	1	KeePer TOM'S LC500	1'32.769R	1'32.733R
6	16	MOTUL MUGEN NSX-GT	1'33.339	1'33.150
7	64	Epson NSX-GT	1'32.776R	1'33.184
8	38	ZENT CERUMO LC500	1'33.304	1'33.323
9	6	WAKO'S 4CR LC500	1'33.527	
10	19	WedsSport ADVAN LC500	1'33.530	
11	12	カルソニック IMPUL GT-R	1'33.638	
12	39	DENSO KOBELCO SARD LC500	1'33.807	
13	24	フォーラムエンジニアリング ADVAN GT-R	1'33.994	
14	23	MOTUL AUTECH GT-R	1'34.055	
15	3	CRAFTSPORTS MOTUL GT-R	1'34.695	

“R”マークの車は、コースレコードを更新しました。

ZENT

LEXUS

Racing Development
TRD

BRIDGESTONE

EXEDY

PMU
RACING PADS

WAKO'S

asics

BBS

AST Inc.
Advanced Thermal Management

PREMIUM WATER
Hydration Water Delivery System

TAMACHI

GIRO